



学区社会福祉協議会の取組み紹介

長東西学区 思いやり多き人のまち、長東西

今回お話を伺った、田中地域福祉推進委員(左)、田中会長(中)、益永副会長(右)です。学区社協の拠点には、これまでの長東西の活動を収めたアルバムが、きれいに整理されています。(写真撮影のため特別にマスクを外しております。)



手作りのパネルを見ながら、子ども達と気あいあいと話が弾みます。

1人暮らしの高齢者を対象にした、学生さんとのクリスマス会。コロナ禍では手作りのお菓子のプレゼントをされています。コロナ前は、本格的なコース料理でお祝いされていました。

わたしの町内会ってどこだろう?

●長東西学区社協の活動について
宗箇山のもと、平成10年に発足した長東西学区社協は、子どもから高齢者、地域の大学生等、世代を越えた思いやり・つながり合いがある地域です。長年、地元広島文化学園大学の学生さんと、地域の企業に協賛してもらい、一人暮らしの高齢者の方に手作りのお弁当を届けたり、クリスマス会を実施されています。また、広島文化学園大学の学生さんとは、隣接する長束地区社協と共に、地元へ伝わる「長束音頭」の継承にも取り組まれています。

●コロナ禍での地域の様子

コロナ禍の現在も、会議や勉強会をオンラインで実施されたり、高齢者の見守りネットと災害時の避難行動との運動を検討される等、つながりを絶やさないための取組をされています。また、小学校の総合学習「わが町長東西」では、地域の方が講師になり、社協・町内会の取組をまとめた社協手作りのパネル(写真左)を活用しながら授業をされています。



田中会長

歴史と文化ある長東西学区で、地域みんなが支え合い思いやりあふれるまちづくりはこれからも続いています。

大塚・伴南学区 祭りが紡いだまちづくり

「新しいであいともにもささえあうまちづくり」をテーマに世代を超えたつながりづくりを大切にしている大塚・伴南学区社協の皆さんにお話を伺いました

Q: 大塚・伴南学区のPRポイントを教えてください。

A: 毎年夏に開催する「ふれあい祭り」がわがまち一番のメインイベントです。世代を問わず4000人以上が参加するこの祭りは地域全体で250名を超える住民が半年前から準備に携わり、1から作り上げることでの顔のみえる関係づくりが生まれています。祭りの回数を重ねることで、新しく転居した人も地域で安心して生活できるきっかけとなっています。

Q: コロナの影響を受け「ふれあい祭り」が2年連続で中止となりましたが、そのなかでもつながりを絶やさないための取組みを教えてください。

A: ITが得意な若い役員の発案によりICTを活用した地域住民が自宅でも参加できる環境を整えました。具体的には学区社協と地域団体が連携するための連携基金を活用しICT機器の整備後、公民館や都市学園大学、地域包括支援センターとタイアップし、認知症の講座を会場参加とZOOM配信で開催しました。また学生が主体的に企画・参加した防災教室では公民館や広島修道大学とタイアップし、会場参加とZOOM配信を行いました。その結果、若い力と地域のつながりが生まれ、今後地域全体の防災力の強化も期待できます。今後も新しい風をとりいれながらつながりを紡いでいきたいと思っています。



上段: 大塚公民館 毛利館長・森山氏
下段: 青山会計・立山推進委員・熊本会長・茂木事務局長
(撮影時のみマスクを外しています。)



第24回 大塚・伴南小学校の祭り
認知症講座
防災教室(担当の様子)



令和4年度から安佐南区社会福祉協議会は、

社会福祉法人広島市社会福祉協議会と合併します。

令和4年4月1日に現在9つの社会福祉法人に分かれている広島市社会福祉協議会・区社会福祉協議会は「広島市社会福祉協議会」に合併します。法人運営に関する事務を市社協に集約し、区社協がより地域支援に力を入れていくことを目的とし、合併後も安佐南区社会福祉協議会として、「ふれあい・たすけあい・ささえあい」をすすめてまいりますので、よろしく願います。

イメージ図



安佐南区ボランティアセンター通信

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、今後、本誌掲載の催しなどが中止になる可能性があります。詳しくは申込み先にお問合せください。

令和3年8月11日大雨災害に伴う安佐南区災害ボランティアセンター活動報告。 ～延べ606名のボランティアの皆様にご活動いただきました。～

【開設期間 8月18日～9月30日】



【活動の様子】

【活動の様子】

ボランティアの
皆様ありがとうございます
ごさいます

皆様のご支援誠に
ありがとうございます。

災害ボランティアセンターへのご寄附、ご協力誠にありがとうございました。感謝の意を含め、ここにご芳名を掲載させていただきます。

- 西田 純勝 様
- 萩原町内会 様
- 広島フアラタシ 様
- 広島経済大学 様
- 学校法人中川学園 様
- 貴土建設有限会社 様
- コミサボひろしま 様
- 地縁法人畑組自治会 様
- 伴学区町内会連合会 様
- 末日聖徒イエス・キリスト教会 様
- 広島医療生活協同組合広島共立病院 様
- 特定非営利活動法人SKY協働センター 様
- 特定非営利活動法人ピースウイングス・ジャパン 様
- 防災・災害ボランティア活動支援チーム広島(通称 SKチーム) 様
- ライオンズクラブ国際協会336-C地区5R2Z広島フェニックスライオンズクラブ 様
- 匿名1名 様

赤い羽根共同募金のお礼

大規模な災害が起った際に災害ボランティア活動の支援など、被災地を応援するために使われています。

この度の令和3年8月大雨災害において共同募金から多くの支援を受けました。
(支援金額 1,000,000円)
募金をご協力いただいた地域の皆様、活動にご尽力いただいた関係者の皆様にお礼申しあげるとともに、今後とも「じぶんの町を良くするしくみ」のひとつとして、共同募金へのご協力をよろしくお願いたします。

令和3年度共同募金実績額 (安佐南区)
13,630,601円 令和4年 2月28日現在



▲今年度の「赤い羽根×カーテラポピュラシ」

指定管理施設のご案内

安佐南区社会福祉協議会では指定管理者として施設の運営管理をしています。地域の様々な活動においておりますので、ご利用につきましてはお問合せ下さい。

安佐南区総合福祉センター
住所 安佐南区中須一丁目 38番13号
TEL 082-831-5011



まごころに感謝します

皆さまからあなたがかいご寄附をいただきました。厚くお礼申しあげます。お寄せいただいた善意は地域福祉のため、有効に活用させていただきます。
(令和3年8月1日～令和4年2月28日 一受付順一)

- 一般寄附 藤本 博子 様 安東6丁目在住の方 他 匿名4名 様
- 物品寄附 石川 保好 様 他 匿名4名 様

- 地域福祉活動
- ひとり親福祉活動
- 障がい者福祉事業
- ボランティア事業

寄附は地域を支える第一歩

皆さまからの温かいご支援が、福祉の向上への大きな力になります。お寄せいただきました寄附は、下記の事業に使わせていただきます。

お気軽にご相談ください

弁護士相談

毎月第3水曜日
13:00～15:00 (要予約)
金銭トラブル、不動産・家庭問題、遺産相続など分かりにくい法律の疑問に弁護士がお答えします。

子育てスクール相談

第4火曜日 10:00～14:00
先輩ママ「MaMaぼっけ」による子育ておしゃべりの場です。はじめての子育て、仲間づくりを応援しています。また、子育てスクールのことや子どものこと、ママ、パパたちの悩みなどの相談にのっています。ママ、パパの気分転換にどうぞ！

安佐南区くらしサポートセンター

様々な理由により生活に悩みや不安を感じている方の相談窓口です。「長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない」「家計のやりくりが難しい」「借金を抱えて生活が苦しい」などの相談をお受けしています。

所在地 広島市安佐南区中須1-38-13
安佐南区総合福祉センター5階
電話 082-831-1209
時間 8:30～17:15



掲載記事へのご意見・ご感想・お問い合わせ先

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会事務局 〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013 E-mail: asami@shakyo Hiroshima-city.or.jp